



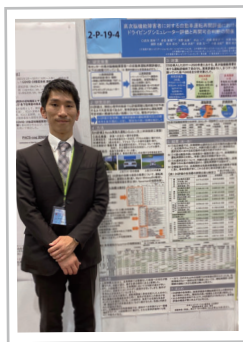
▲表彰される受賞者(武内先生、左から2番目 6/25パシフィコ横浜ノース)

日本リハビリテーション医学会 第59回 in横浜

6月23日-25日に横浜で開催された第59回日本リハビリテーション医学会で、専攻医の武内先生が発表したポスターが優秀賞に表彰されました。この発表の背景には10年以上に渡る千葉リハ高次脳運動支援ワーキングメンバーの努力があります。これまでのワーキングチームの地道な努力がこのような形で評価されたことを大変嬉しく思っています。



『高次脳機能障害者に対する自動車運転再開評価におけるドライビングシミュレーター評価と再開可否判断の関係』



▲ポスター部門で受賞した武内先生

こ〜じのう

掲示板



こ〜ちゃん
高次脳支援センターキャラクター

47

2022.8

- 特集 千葉県高次脳機能障害支援普及事業
～千葉リハ高次脳支援のための研修会・イベントMAP～
- 支援センターだより
- 全国の動き・イベント講習会報告

こ〜じのう掲示板は千葉県千葉リハビリテーションセンターや千葉県、全国の高次脳機能障害に関わる情報を紹介する広報誌です

菜の花メッセージ

菜の花メッセージは、高次脳機能障害支援にかかわる方々から、応援メッセージを頂き掲載しております。



「南国土佐からご挨拶」

日本高次脳機能障害友の会
理事長 片岡保憲



みなさま初めまして。日本高次脳機能障害友の会の片岡保憲と申します。日頃は高知県で、脳損傷友の会高知青い空というNPO法人を母体に、高次脳機能障害の当事者家族会や支援拠点機関、就労支援事業所、アールブリュットサポートセンター等の運営に汗を流しております。

日本高次脳機能障害友の会は、高次脳機能障害のある人やその家族、支援団体等に対して高次脳機能障害についての正しい知識の普及と情報の提供を行い、高次脳機能障害に対する社会の理解を深めると共に、就労や復学、復職に向けての支援活動を通じ、高次脳機能障害がある人とその家族が安心して生活できる環境の実現に向けて活動している当事者家族団体です。全国各地の当事者家族会、約60団体で構成されております。

現在、高次脳機能障害のある当事者と家族を取り巻く環境には、高次脳機能障害の普及・啓発、医療機関と地域・福祉の連携、医師の診断技術、親亡き後の問題、生活・就労支援活動、社会的支援を行う支援者の育成、触法行為等の課題など、たくさんの課題が山積しているわけですが、こういった課題に対し、当会は当事者・家族会として何ができるのかを熟考しながら活動を継続していきたいと考えております。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

information

※各講座の詳細は千葉リハホームページに掲載しています。

■高次脳機能障害地域支援者向け連続講座2022

第2回 日時: 2022年 9月9日(金) 集合研修 14:15-16:15
第3回 日時: 2022年11月4日(金) 集合研修 14:15-16:15
場所: 千葉市市民会館小ホール

■2022当事者・家族のための高次脳機能障害勉強会 (集合研修+Web配信)

日時: 第1回 2022年10月19日(水) 集合研修 14:00-15:30
場所: 千葉リハビリテーションセンター

■第18回高次脳機能障害リハビリテーション千葉懇話会

日時: 2022年10月21日(金) 集合研修 19:00-21:00
場所: 千葉市市民会館小ホール



編集後記

■年度が新しくなりそろそろ四半期が過ぎようとしています。今年度も、日頃の業務で取り組んでいることや地域での高次脳支援情報など、この掲示板を通して広くみなさまに知っていただけるよう企画・編集頑張ります！読者の皆様からも、高次脳支援に関する耳よりな情報がありましたら一報お待ちしております。(四代目Y)

■3回目となった職場での夏マスクが今年は特にづらい。少し動いただけで汗だくになってしまう。昨年の秋に支援センターが引っ越しをして、初めての夏を迎えた部屋は、北向きであっても涼しくないのだ。感染対策の換気も暑さを増大させている。サーキュレーターの前で涼みながら、後記を書いている今日、梅雨明けまだ2週間しか経っていないというのに、夏の終わりを考えているYです。(Y)

こ〜じのう 掲示板

2022.8 vol. 47

発行日 ■ 2022年 8月 5日

発行 ■ (社) 千葉県身体障害者福祉事業団 千葉県千葉リハビリテーションセンター
千葉県緑区菅田町 1-45-2 Tel. 043-291-1831(代) 内 198

発行責任者 ■ 地域支援センター 高次脳機能障害支援部
部長 長谷川 純子 [高次脳機能障害支援センター]

http://www.chiba-reha.jp/ ※ホームページからご覧いただけます



令和4年度 第1回高次脳機能障害支援普及事業全国連絡協議会

2022.6.29
Web開催

6月29日Webにより開催され、各県の委員およびオブザーバーが多数参加しました。会議では、実施したブロック会議の報告、厚生労働省障害保健福祉部精神・障害保健課からは、今年度の支援普及事業についての説明がありました。ブロック会議の報告では、医療と地域の連携、運転再開支援への対応、家族会やピアサポートの運営、コロナ禍での支援普及実施状況に関する課題が共通して挙がっていました。厚労省鈴木補佐からは、昨年度までの支援普及事業の取り組みにより支援コーディネーターが全国で437名となったこと、これまでの経過で課題となっていた支援者の専門性を担保するための対策として「支援者研修のカリキュラム及びテキスト開発」を厚生労働科学研究として進めているとの話がありました。



令和4年度 第1回高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議

2022.6.29
Web開催

今年も国立障害者リハビリテーションセンターの主催でZoomを用いてWeb上で会議が行われました。前半は障害者職業総合センターから「高次脳機能障害者の復職支援とアセスメント」の講演と、国立職業センターから「国立職業リハビリテーションセンターにおける高次脳機能障害者への支援」の事業紹介がありました。後半の実践報告では、千葉リハ長谷川部長より、「千葉リハ就労支援～高次脳機能障害者就労移行支援プロジェクトを中心に」をお話しました。その後、全国のコーディネーターを各6名ずつの小グループに分けて、各地域の就労支援体制の充実に向けた取り組みについてグループディスカッションを行い情報共有しました。千葉リハは、他県と比べると、千葉県は就労支援機関や事業所が多く、環境に恵まれている方なのだと感じました。



令和4年度 千葉県高次脳機能障害支援ネットワーク担当会議

2022.5.31
千葉リハ

昨年度は新型コロナウイルスの影響によりWEB開催となりましたが、今年度は2年ぶりに千葉県障害福祉推進課中島副課長、千葉リハビリテーションセンター、旭神経内科リハビリテーション病院、亀田リハビリテーション病院、旭中央病院の支援コーディネーターが顔を合わせ、取り組みの報告と意見交換を行ないました。意見交換ではコロナ禍での研修や家族会の現状や課題について話題に挙がりました。研修は集合での開催が難しい中でWEBの活用と導入の工夫をして実施されていました。家族会については開催のニーズはあるものの、様々な理由で集まることが難しい状況でどのように継続していくか、課題と今後の取り組みについて検討しました。今後も支援拠点機関として各地域での支援と千葉県全体でのネットワーク作りを行なっていきたいと思います。

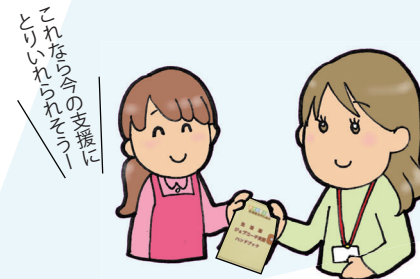
高次脳機能障害支援センターの近況や支援活動などを報告します。

生活版ジョブコーチ支援ハンドブックを製作しました!!

生活版ジョブコーチ支援を知ってもらうため、支援センターでは昨年からのハンドブックの製作に取り掛かりました。コンパクトで手に持ちやすく、わかりやすいを目指して作った一冊です。

生活版ジョブコーチ支援とは?

生活版ジョブコーチ支援は、高次脳機能障害を抱えた方が自立生活をしていくために必要な知識や技術を実際の生活場面で訓練し援助する訪問型の支援です。一般的な訪問型介護サービスは直接的な援助が主ですが、生活版ジョブコーチ支援は介助ではなく間接的な『自立への見守り』で、家族支援や環境調整などの対応も必要とされます。



▲全20ページからなるハンドブック

2022年度の生活版ジョブコーチ支援研修会は秋頃に開催する予定です。詳細は千葉リハのホームページでお知らせ致します。

ハンドブック製作担当より

当支援センターでは生活版ジョブコーチ支援の手法を用いて地域のヘルパー等に繋いだり、地域からの依頼を受けて協働で支援を行っています。こうした事例の蓄積から年に1回研修会を開催してきましたが、この支援にはちょっとしたコツが必要です。「これなら今の支援に取り入れられそう!」と思っていたくきっかけになってほしい、という思いから、当支援センターのスタッフで1年をかけてハンドブックを作りました。わかりやすく手に取っていただけるものになるよう何度も検討を重ね、ようやく完成することができました。まずは研修会の受講生や実際に一緒に支援を行う事業所、県内支援拠点機関等へ説明とともに配布していきながら、高次脳機能障害を抱える方々の安定した生活の一助となるよう、この支援の普及に取り組んでいきたいと思います。



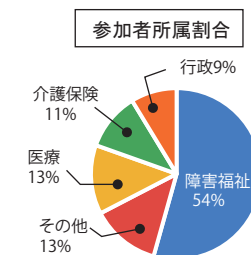
『高次脳機能障害 地域支援者向け連続講座』が始まりました!!

2022

今年度で4回目となった地域支援者向け連続講座。2年ぶりの集合研修となった本講座は、千葉市民ホールに場所を変えての開催となりました。



▲ミニ体験を行う参加者たち(7/8千葉市民会館小ホール)



今後の講座開催日程

- 第1回 7/8(金) 高次脳機能障害概論 終了
- 第2回 9/9(金) 各論1:神経疲労(脳疲労)・注意障害
- 第3回 11/4(金) 各論2:記憶障害・遂行機能障害
- 第4回 1/13(金) 各論3:社会的行動障害・失語症

講師の赤荻先生

Topics 特集

千葉県高次脳機能障害支援普及事業 ～千葉県ハ高次脳支援のための研修会・イベントMAP～

高次脳機能障害の正しい理解を促進するため、当事者及び家族に向けた基礎的な内容での勉強会を開催しています。「高次脳機能障害の理解のために」というタイトルで、高次脳機能障害のそれぞれの症状の特性と対応について、当事者・家族にわかりやすいようにかみ砕いて2回に分けて講義を行っています。特に障害特性の対応については当事者・家族ともに明日から使える具体的な対応方法をお伝えしています。

対象:当事者・当事者家族

当事者・家族のための 高次脳機能障害勉強会



地域支援者向けに高次脳機能障害者の方への支援に役立てていただけるよう、概論や障害特性と対応についてDrや現場スタッフがお話します。また講座内では実践的な手法の一部をミニ体験として紹介しています。

対象:高次脳機能障害者の支援者または
高次脳機能障害に関心がある方

高次脳機能障害 地域支援者向け連続講座



千葉リハビリテーションセンターがこれまで積み重ねてきた子どもの高次脳機能障害支援の技法(評価方法の工夫、多彩なリハビリテーションプログラムの実施、試験登校や連携会議などの復学支援、学校卒業後にに向けた青年期の支援、家族支援など)を分かりやすくお伝えするため、2018年度より年に1度の研修会を開催しています。

対象:医療、福祉、教育、行政関係等の支援者

小児高次脳支援者向け研修会



高次脳機能障害児を支える医療・福祉機関、学校および就労支援機関などの関係機関の方々を対象に毎年実施している研修会です。ここ数年は、「高次脳リハビリテーションの進め方」「社会的行動障害を中心とした高次脳機能障害の臨床」「運転再開に必要な知識と支援」「千葉リハ高次脳支援」といったテーマを扱っています。支援者の皆様の支援に役立つ内容を提供できるよう心がけています。

対象:支援者向け。テーマによって対象者が
異なります

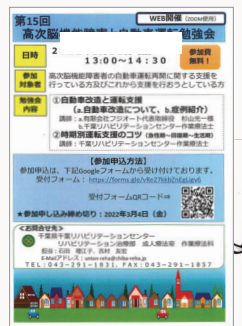
高次脳機能障害 リハビリテーション千葉懇話会



『運転再開に関する千葉県内の支援者育成と研鑽、情報交換の場』として、2012年10月から継続して、年に1回「高次脳機能障害と自動車運転勉強会」を開催しています。その時々ニーズに合わせ、当センター作業療法士を中心に講師を務め、テーマによっては外部から講師を招いて開催しています。昨年度は「自動車の改造」と「時期別支援」がテーマでした。継続して開催しますので、支援者の皆様のご参加をお待ちしております。

対象:医療、運転支援に携わる支援者

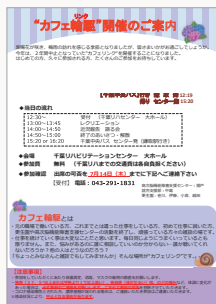
高次脳機能障害と自動車運転勉強会



準備期間 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

千葉リハで行っている研修会

千葉リハでは、県内の医療・福祉・行政などの関係機関の方々に高次脳機能障害を知っていただくために、地域で活躍する支援者の皆様に支援に必要な知識や方法を学んでいただくために、そして当事者・ご家族の皆様の交流や学びの場を提供するために試行錯誤を重ねながら幾つかの研修会やイベントを企画・開催してきました。昨年度、一昨年度はコロナ禍で残念ながら開催できなかったイベントもありましたが、今年度こそは開催できるよう頑張ります。研修会・イベントの詳細は、千葉リハHPに順次情報がアップされますので、皆様、是非ご参加ください！



対象:当事者

りんく カフェ輪駆

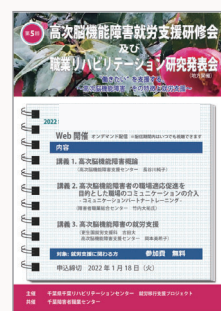
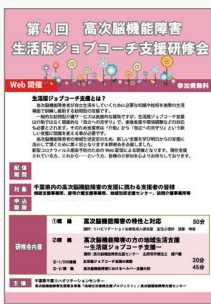
元の職場に戻って働いている方、今までとは違う仕事に就いた方、更生園や高次脳機能障害支援センターの活動を終了して就労を目指して頑張っている方々が集まり、仕事や近況についてゆったりと語り合うイベントです。新型コロナウイルス感染症対策の為、前年度と前々年度は中止となりましたが、今年度は7月30日に2年ぶりの開催を予定しています。「ちょっと皆さんと雑談でもしてみませんか」そんな場所がカフェ輪駆です。



対象:高次脳機能 障害者の支援携わる支援者

高次脳機能障害 生活版ジョブコーチ支援研修会

地域支援者の方を対象に高次脳機能障害を抱える方々の安定した生活への一助となるよう研修会を開催しています。生活版ジョブコーチ支援は、介助ではなく間接的な『自立への見守り』。高次脳機能障害者が自立生活をしていくために必要な知識や技術を実際の生活場面で訓練し援助する訪問型の支援をわかりやすく説明します。



対象:就労支援に関わる方

高次脳機能障害就労支援研修会

就労支援に携わる地域の支援者を対象に高次脳機能障害者の就労支援方法の普及啓発を目的として研修会を開催しています。『働きたい』を支援する～高次脳機能障害その特徴と就労支援～というテーマで、高次脳機能障害概論や就労支援の実際として、高次脳機能障害支援センターでの社会適応リハや更生園での職業リハについての講義や、地域で活躍されている就労支援機関の方に就労支援事例など具体的な支援内容をお話し頂いています。



対象:千葉リハの利用者、その家族

高次脳機能障害交流会

千葉リハを利用した方たち、その家族の交流を目的に講演会、レクリエーション等を行っています。年に1回、皆で顔を合わせ、近況を伺い、そこから新たなつながりが生まれることもあります。「中々相談できる場所がない」「話がしたいな」「久しぶりに千葉リハに行ってみようかな」そんなきっかけになる場を目指しています。

他にもこんな講習会があります！

県内の方でなくても
参加できます！

高次脳機能障害 リハビリテーション講習会

日本損害保険協会の助成を受けて年1回開催されています。講習会を通じて、高次脳機能障害児やその家族、支援者の皆様への情報提供や情報交換の場を提供することを目的としています。毎年、医療、福祉、就労、生活、家族など様々なテーマにフォーカスを当てています。関係者の方々だけでなく、一般の方にも広くこの障害について知っていただく機会となるような講習会を目指しています。





家族会のかつどう

今年度に入って徐々に活動を再開している家族会があります。今号では日中活動をしている様子をお伝えします。

ディアひまわり

「ちば高次脳機能障害者と家族の会」では、当事者の方の日中活動の場『ディアひまわり』を、毎月2回、船橋市身体障害者福祉センターにて開催されています。コロナウイルス感染症予防のため自粛も続きましたが、5月から活動が再開されました。高次脳機能障害支援センターのスタッフも時々参加させて頂いていますが、皆さん久しぶりと感じさせない雰囲気、近況を報告し合ったり、ゲームをしたりと楽しい時間を過ごされていました。安心できる場所がいつでもあるっていいですね。



▲ディアひまわりの様子

ハイリハちば

「高次脳機能障害者の会 ハイリハちば」では、2ヶ月に1回、定例会活動を開催されていましたが、昨年はコロナウイルス感染拡大予防のため1度も行うことができませんでしたが、4月に再開されました。久しぶりに交流し、近況報告やかるたをして盛り上がりました。「やっぱり顔を合わせるっていいなあ」「今仕事でこんなことしてるよ」など会話が弾んでいました。



▲ハイリハちばの様子

書籍紹介

NEW

小児期発症高次脳機能障害の発症から就労までをまとめた本が発刊されました!



執筆・監修
大塚恵美子
小倉由紀
鈴木勉

『わたしたち、働いています』

事例から見る小児期発症高次脳機能障害の発症から就労まで

編著 大塚恵美子 小倉由紀 鈴木勉
発行 2022年3月31日 (株)エスコアール

本書の見どころは、ご本人とご家族の声(事例)が「発症」から「就労とその後」まで丁寧に載っているところにある。受傷・発症時のご家族の想いやご本人のその後の闘病生活、学校で楽しかったことや大変だったこと、その後の進路選択……小児期発症で目まぐるしく変わる状況や迫られる選択の中で、支援者が関わることが出来るのはご本人・ご家族の人生のほんの一部であることを実感すると共に、ほんの一部であるからこそ、支援者にはご本人・ご家族の力になれるような知識が必要であると感じた。本書は前半の事例でご本人・ご家族が直面し、乗り越えてきた出来事を知り、その過程に携わる支援者が知っておくべき、身に着けておくべき知識を後半で惜しみなく提供してもらる一冊となっている。小児期発症の高次脳機能障害の方を支援される方はもちろん、就労支援に携わる方にはぜひご覧いただきたい。

旭神経内科リハビリテーション病院

社会復帰へ向けた集団訓練「さくらの会」は現在の形式となってから3年目となりました。現在は、コミュニケーション訓練(挨拶、クイズなど)、講義(障害に関する知識を毎月障害別に説明)、実践(講義で学んだことを活用するプログラム)と凡そ3つの内容を実施しております。また、昨年度は初めての試みとして、「さくらの会」を含めた多施設合同のオンラインレクリエーションを開催致しました。今年度も引き続き昨年度の内容をブラッシュアップしての実施を検討しております。普及啓発の講習会につきまして、今年度は「就労までの生活基盤を整える」をテーマに開催予定です。事例を用いて各職種の役割を確認できればと考えております。



▲集団訓練『さくらの会』の様子

亀田リハビリテーション病院

6月18日に当院にて【高次脳機能障害当事者と家族の会】を開催しました。南房総地区の家族会は毎月、南房総市で開催されていますが今年度から年3回は拡大版として当院で実施することとなりました。参加者は当事者、家族、支援者併せて27名と久しぶりに大勢の参加となりました。永田院長の挨拶に始まり、簡単なコグニサイズを実施。その後グループに分かれ、困りごとや近況報告など沢山の話題が飛び交いました。ご家族からの感想として『悩むことも多いけど、困った時の相談場所があると知れて良かった』『いつも家の中だけだから洋服に意識していませんでした。今日はお出かけなので、おしゃれしました。』等の感想を頂きました。



▲【高次脳機能障害当事者と家族の会】の様子

総合病院 国保旭中央病院

今年度は支援者向け研修会のほかに、新たな取り組みを2つ計画しています。1つは当事者家族向けの交流会開催です。コロナ禍のため「茶話会」とはいきませんが、高次脳機能障害を抱える当事者やその家族、また関係者との間で交流の機会を作り、高次脳機能障害への理解や、当地域で必要な支援などについて、皆で考えていければと思います。もう1つは、就労支援に関する意見交換会です。医療機関を退院してからの就労支援に関する課題や必要な取り組みについて、圏域内の関係者と一緒に考え、協働していきたいと思います。今年度も関係機関との連携を通して、支援の輪をさらに大きく太くしていけるよう活動して参ります。どうぞよろしくお願い致します。マスク生活も3年目、また暑さとマスクにひたすら耐える季節がやってきますが、旭の海は、日ごとに輝きと青さを増してきています。



▲飯岡灯台(刑部岬)より九十九里浜を望む

千葉県内には千葉県リハの他に、地域支援拠点機関が3つあります。毎月3つの支援拠点機関の取組みや情報を掲示板のなかで発信していきます。

千葉県の支援拠点機関情報